

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

大江町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県西村山郡大江町

3 地域再生計画の区域

山形県西村山郡大江町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1950 年の 17,159 人をピークに、一貫して減少が続き、2015 年には 8,472 人とピーク時の人口の 49.3%の水準となっている。ピーク時から 1975 年頃までは年間約 200 人の減少が続き、1980 年頃から 2000 年頃までは、年間約 50 人減少となった。2000 年頃から 2016 年までは年間約 150 人の減少で推移、2017 年以降は再び約 200 人の減少となっている。2022 年には 7,507 人まで減少している。国立社会保障・人口問題研究所による推計によると、2040 年には 5,173 人になることが見込まれている。

年齢 3 区分別の人口推移をみると、年少人口は 1985 年には 2,117 人だったものが 2020 年には 761 人、老年人口は 1985 年には 1,955 人だったものが 2020 年には 3,035 人となっており、少子高齢化が進んでいる。生産年齢についても 1985 年には 6,989 人だったものが 2020 年には 3,850 人となっている。

人口減少の推移を自然増減と社会増減に分けると、自然増減は一貫してマイナスで推移しており、特に 2005 年以降は 100 人を超える状況が続いている。2020 年には出生数 23 人に対して、死亡数 153 人の自然減（▲130 人）となっている。本町の合計特殊出生率をみると、1985 年には 2.22 であったものが、以後概ね低下傾向で推移し、2006 年には 1.11 となった。その後、回復傾向をたどり 2013 年には 1.72 まで上昇したものの、再び低下傾向となり 2020 年には過去最低の 0.89 となっている。

社会増減は、年によってバラツキがあったが、2000 年において▲25 人となって以降、2008 年には▲65 人とマイナスが続いた。2009 年に＋3 人と転入超過となったものの、2010 年に▲15 人となって以降は再びマイナスとなっており、2021 年には▲32 人と社会減少傾向が続いている。

本町において現状の傾向のままで人口が推移すれば、高齢化の進展による労働力不足により総人口の減少以上に地域経済規模が縮小するおそれがある。

また、地域経済規模の縮小だけではなく、社会保障費の増大等により働き手一人当たりの負担が増加することによる勤労意欲の低下やイノベーションの停滞、公共サービスの低下という影響も考えられる。

さらに、人口規模の小さい集落においては、若者の減少で様々な伝統文化の継承が困難になることはもとより、買い物や医療等の日常生活に必要な各種の機能・サービスを維持・確保することが困難になると想定される。

このような人口減少期において自立したまちづくりを持続していくため、この危機感を町民と共有しながら、本町に住む全ての人々が日々の生活の中で満足感や幸福感を実感できる町を目指し、町民一丸となつて的確な施策を展開することによって、人口減少に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 おおえで若い世代が安心して働ける環境をつくる
- ・基本目標 2 おおえに新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	雇用創出数	28人	36人	基本目標 1
イ	転入者数	159人	170人	基本目標 2

	転出者数	201人	200人	
ウ	合計特殊出生率	0.89	1.43	基本目標 3
	出生数	27人	35人	
エ	大江町に住みたいと思う市民の割合	66.2%	70%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

大江町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア おおえで若い世代が安心して働ける環境をつくる事業

イ おおえに新しい人の流れをつくる事業

ウ おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる事業

② 事業の内容

ア おおえで若い世代が安心して働ける環境をつくる事業

地域資源を活用した特色ある地域産業の振興のため、アイデアとやる気によりチャレンジする人材の支援や若い世代の働きやすい職場づくりと町内企業の人材確保を推進する事業

【具体的な事業】

- ・若者や女性等多様な担い手の受け皿となる農業法人等の設立の推進と自立した経営に向けた支援
- ・県が推進する「やまがた森林(モリ)ノミクス」の取組みと連携した木材・林産物の生産から販売までの総合的な支援や林業経営の指導的人材の受入れ

- ・相談窓口の設置等、商工会や金融機関との連携によるチャレンジする人材のサポート体制の強化
- ・既存の町内企業の規模拡大及び事業承継に対する支援 等

イ おおえに新しい人の流れをつくる事業

若者の定住促進や移住・関係人口施策の推進を図り、特色ある教育の充実とふるさと愛の醸成を図る事業

【具体的な事業】

- ・町外へ進学・就職した若者と地元との交流等、若者の交流の場の創出により町内回帰や定住への意識醸成、若者の社会参加と地域を担う人材の育成
- ・農林業に興味・関心のある女性を呼び込み、女性の新規就農者等を確保するための受入体制と支援を強化 等
- ・町民大学の充実といきがいと活力を創る生涯学習の推進

ウ おおえの若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚希望者に対する支援の充実や出産・子育てをしやすい環境、仕事と子育てを両立できる環境の整備を図る事業

【具体的な事業】

- ・県等が運営する「やまがた出会いサポートセンター」と連携した婚活イベントの開催等、町内外の独身者同士の出会いの機会を創出
- ・子どもの医療費負担や保育料・出生祝金等、子育て世帯への経済的不安に対する支援の充実
- ・早朝・延長保育や一時保育等の多様なニーズに応じた保育サービスの充実・拡大 等

エ おおえの地域力の強化と安心・堅実な暮らしをまもる事業

地域力の強化を推進し、快適な暮らしを支える生活環境の整備や社会福祉の充実を図る事業

【具体的な事業】

- ・地域住民の発案による地域づくり計画の策定を促し、地域が主体性を持って取り組む地域活性化の活動を支援

- ・行政と地域が連携した除排雪等対策体制を構築し、地域における共助・公助の克雪の取組みを推進
- ・雪下ろし等除排雪に対する支援や見守り付配食サービスによる支援、緊急通報装置の設置支援等、一人暮らしの高齢者等の健全で安らかな日常生活を確保するための取組みの推進 等

※なお、詳細は第2期大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

12,500 千円（2022 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃に大江町まち・ひと・しごと創生町民会議（外部有識者、町内団体代表者等）において、基本目標に係る進捗状況や効果検証を行う。検証後速やかに本町公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで